

第二十回日本時間生物学会学術大会のお知らせ

2013年度学術大会を近畿大学本部11月ホールで開催いたします。演題申し込み・参加申し込みについては7月中旬に大会ホームページ上でご案内します。多くのご参加をお待ちしています。

テーマ “広がりゆく生物時計の世界”

開催場所：近畿大学本部11月ホール

会期：2013年11月9日（土）～11月10日（日）

大会長：重吉康史（近畿大学医学部 教授）

開催場所：近畿大学本部 11月ホール・近畿大学薬学部

〒577-8502

大阪府東大阪市小若江3-4-1



運営方針

以下、本年度学術大会の運営方針（案）を述べます。ご意見歓迎いたします。

1. 本年の大会では参加者間の交流を深める場をできる限り提供したいと思っています。そのために気楽に質疑応答し、語り合える場を提供する事を目標としています。ポスター発表の時間を二倍にし、懇親会を充実させることを考えています。研究者間の交流が深まるようなもうひと工夫のご提案あればよろしくお願いたします。懇親会の余興なども歓迎です。
2. 一般発表ではオーラルはなくしその時間をポスター発表にあて、できるだけ参加者にディスカッションを深めていただきたいと考えています。やや形式的になっていたポスター賞審査の時間をたっぷり取る意味もあります。
3. 時間生物学の研究領域の拡大を狙い、特別講演、シンポジウムにおいては学会員のみならず非学会員の方をもお招きして新たな研究の方向性の示唆となるような発表をお願いしたいと考えています。
4. 大会長が基礎、基礎、ときて私がまた基礎です。ただ私は内科医でもあり、睡眠治療などにも手を染めています。よってヒトを対処とした研究についても大いに発表していただきたい。基礎系のみならず臨床系、ヒトを研究対象とした先生方が来られても役に立ったな、面白かったなという企画をできるだけ多く組みたいと考えています。

演題登録・参加登録

演題登録・参加登録は8月初旬からを予定しております。大会ホームページ上からお申し込みください。

プログラム

11月9日（土曜日）

シンポジウム 4席

特別講演 講演者 未定

ポスター討議 午前および午後の二回

懇親会

11月10日（日曜日）

シンポジウム 4席

特別講演 講演者 未定

総会

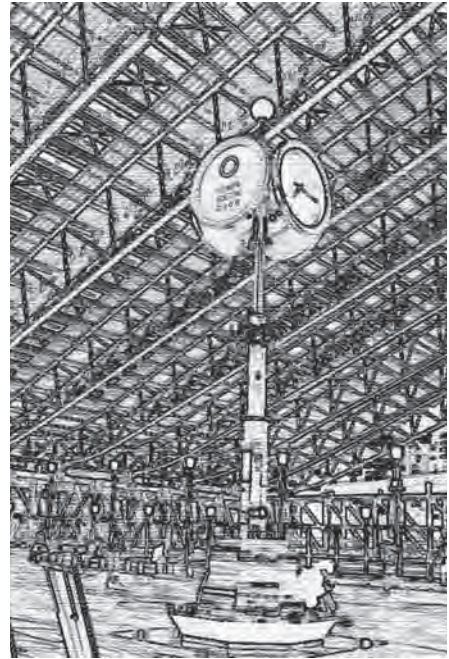
奨励賞授賞式、受賞講演

優秀ポスター賞発表

ポスター掲示は10日夕刻まで

シンポジウム予定（すべて仮題・順不同）

1. 植物の生物時計
2. 脊椎動物の生物時計
3. 睡眠と体内時計
4. 非脊椎動物の生物時計
5. 臨床医学の諸問題と生物時計
6. 分子時計研究の進歩
7. 時間薬理学の進歩とその発展
8. PIへの足跡



サテライトシンポジウムのお知らせ

学会翌日の11日（月曜日）に行われる集会にて“生物リズム現象の研究会（仮題）”を予定しています。場所は同じ11月ホールです。概日リズムに限らず生物のリズム現象全体を俎上に載せ実験と数理を融合させた先端研究の発表を行っていただく予定です。奮ってご参加ください。参加費は無料です。